

図書館通信7月号



平成 29 年 7 月 大泉第二中学校 図書館支援員 菊池

十代の活躍が注目されています。棋士デビュー戦から連勝記録を更新している藤井聡太くんは十四歳の中学生。卓球では十三歳の張本智和くんが元世界チャンピオンの選手を破りました。皆さんと同じ中学生の活躍に驚かされます。あらためて、勝負の世界には年齢は関係がないのだなと感じさせられました。

一方で、有名アスリートの引退も話題となりました。フィギュアスケートの浅田真央選手や、プロゴルフの宮里藍選手も今シーズン限りで引退することを表明しました。

どちらの選手も幼い頃から一つの種目に打ち込み世界の舞台で活躍してきました。輝かしい結果や記録を残し、人々に感動を与えてくれましたが、ずっと同じ世界で活躍し続けることは、やはりできないのだな……と実感させられます。今、注目され今後が期待される人たちも、いつかは自分が活躍している世界を離れて、自分の生き方や生活を見直さなければならぬ「変化のとき」が来るのかもしれない。彼らにとつての「引退」は、新しい世界へとさらに進んでいくための「きっかけ」になるのでしょうか。

部活で引退していく三年生。いつでも、これからも与えられた「きっかけ」をチャンスにして進んでいってください。変わらない今日も、変えられない明日もないのですから！

学校図書館は毎日昼休み開館しています。火曜日と金曜日は図書館支援員が来ています。
※色がついている日は開館しています。

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

今月の作家紹介

たきざわ ばきん
滝沢馬琴(7月6日 1767～1848年日本生まれ)

江戸後期「南総里見八犬伝」を書いた作家です。馬琴は作品を書き始めてから間もなく失明してしまいます。家族に語り聞かせながら書き取ってもらい、なんと28年をかけて作品を完成させました。長い大作ですが、多くの作家が様々な形で物語を書いています。「ある国に伏せと呼ばれる姫と敵の首をかみ取った八房という犬がおりました……。」伏姫が亡くなる時、八つの玉が飛び散り、仁、義、礼、智、忠信、考、悌の霊玉をもつ八犬士が誕生します。

夏休み前

特別貸し出しをします。

7月10日から19日まで

1人5冊借りられます!!



学級文庫の本&話題の本&発掘本

学級文庫の本

「坊ちゃん」 夏目漱石 著

「おやゆずりの無鉄砲で子供のときから損ばかりしている……。」

「坊ちゃん」はこの後、友だちの挑発によって、二階から飛び降りてしまいます。

直球勝負の「坊ちゃん」先生は、校長先生にはむかいます。恋もします。

夏目漱石の作品で、もっとも広く読まれている作品です。

3年の学級文庫にあります。

話題の本

「忍びの国」 和田竜 著

戦国時代、歴史上もっとも怖い武将織田信長。

そんな信長率いる最強織田軍と戦ったのは、伊賀「忍びの国」の忍者軍だった！

「村上海賊の娘」で本屋大賞を受賞した和田竜の作品。「のぼうの城」も映画化され話題となりましたが、「忍びの国」も今年映画化され、7月から公開します。主演は「嵐」の大野智くん。

映画を観てからでも、観る前でも楽しめる作品です。上記3作品とも学校図書館にありますのでこの夏、暑い戦国時代を感じてみてください。



発掘本

「名字のひみつ」 森岡 浩 著

NHK で放送されている

「人名探求バラエティー 日本人のおなまえ！」

を観たことがありますか？日本人で多い名前と云えば「すずき」「さとう」「たなか」そもそも名字はどうやってつくられたのでしょうか？番組では毎回様々な角度から「名字のひみつ」を解き明かしていきます。

番組で紹介された「名字のひみつ」を、さらに詳しく知りたいなら、学校図書館にある、この本を読んでみてください。

「1 名字はどうやってつくられる」

「2 名字と都道府県のはなし」

「3 名字と歴史のはなし」

「4 名字びっくいランキング！」

非常口の緑の人と森へゆく

今月の一句

非常口にはかならず「緑の人」がいます。半分開いたドアから、今まきに出ようとしている人。ちよつと息苦しいとき、ここではないどこかに行きたいとおもったこと、ありますよね。そんなとき、緑の人に手を引かれ連れていかれなくなります。外の世界へ。

「川柳ねじまき井」 なかはら れいこ
「大人になるまでに読みたい
十五歳の短歌・俳句・川柳」から

※7月10日(月曜日)図書委員会で今年度初めての「ビブリオバトル」が開催されます。

見学は自由ですので、図書委員でなくても多くの生徒が見に来てくれるとうれしいです。